

大方高校がランドセルプロジェクトへ参加

平成29年度からランドセルをトング王国の子どもたちへ寄贈している「ランドセルプロジェクト」に協力しようと、11月19日(木)、大方高校の生徒会に所属する3名が代表で町婦人連合会と町小・中学校PTA連合会へランドセルを6個寄贈しました。

きっかけは、婦人連合会とPTA連合会による高校への打診。ぜひ協力したいとのことで実現しました。婦人連合会の秋田篤子会長は、「高校生の協力は心強い。この取組を通じて、他国のことに目を向け、視野が広がるきっかけになれば」と話しました。



ランドセルを渡す生徒ら

「思い入れがあるランドセルを離れた場所にいる子どもたちが使ってくれるのは嬉しい。自分の町のプロジェクトなので今後も続いていけば」と話しました。

第26回潮風のキルト展

砂浜美術館の入野松原に全国から募集したパッチワーク作品を展示する「潮風のキルト展」が11月21日(土)～23日(月)に開催され、1千239人の来場者が訪れました。

今年のテーマは「布を楽しむ」。クッション、小キルト、大キルトの3部門へ計81点の応募があり、来場者は出店やワークショップ、琴の演奏などを楽しみながら作品を満喫していました。



風になびくキルト作品

また、出展作品とは別に「青の世界」をテーマにした企画展では、過去の応募作品で青色を基調にしたものなどを展示していました。

宿毛市から来場したという滝ゆりさんは、「自



作品を観る来場者ら

然の中での展示ですごく良い取組だと思ふ。皆さんの力作を楽しませてもらった」と話しました。

上川口マルシェ

上川口小学校の児童らが企画し運営する「上川口マルシェ」が11月28日(土)、上川口小学校で開催されました。

今年は昨年続き2回目の開催。「みくんな元気になあれ」をテーマに、子どもたちが地域を元気にしたいという思いで開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、出店者数は26店舗と昨年よりも減少しましたが、多くの方が開催を心待ちにしていたようでした。また、同校の児童らが自ら出店し、低学年は野菜などの販売を、高学年は調理した食事の提供などを行いました。

児童会長の平野姫叶さんは、「新型コロナウイルスの対策も考えながら出店の準備をした。こんなに



接客をする児童ら

多くの人が来てくれると思わなかつたのでとても嬉しい」と話しました。

大方くじら保育所が土佐入野駅でツリーの飾りつけ

大方くじら保育所の園児らが12月3日(木)、土佐入野駅でクリスマスツリーの飾りつけを行いました。

参加したのはぞう組の園児15名。毎年、土佐くろしお鉄道・高知西南交通バスサポーターズクラブが主催し、町内の保育園児が参加しています。

園児らは、海の王迎駅からクリスマス仕様になった列車で土佐入野駅まで来た後、クリスマスツリーへオーナメントなどの飾りつけを行いました。その後、クリスマスの歌や踊りを披露し、最後にはサンタクロースからプレゼントをもらいました。



飾りつけをする園児ら

※装飾されたツリーは12月25日(金)まで飾られました。